



2024年5月10日

各位

会社名 株式会社第四北越フィナンシャルグループ
代表者名 代表取締役社長 殖栗 道郎
(コード番号：7327 東証プライム)
問合せ先 経営企画部長 三島 康人
電話番号 (025) 224 - 7111 (大代表)

**「株主還元方針の変更」ならびに
「剰余金の配当（増配）」および「2025年3月期 配当予想（増配）」に関するお知らせ**

当社は、本日開催の取締役会において、「株主還元方針の変更」ならびに2024年3月31日を基準日とする剰余金の配当（増配）、および2025年3月期の配当予想（増配）について下記の通り決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 株主還元方針の変更

(1) 変更内容

変更後	現行
<p>当社は、金融グループの公共性に鑑み、将来にわたって株主各位に報いていくために、収益基盤の強化に向けた内部留保の充実を考慮しつつ、安定的な株主還元を継続することを基本方針といたします。</p> <p>具体的には、配当金と自己株式取得合計の株主還元率40%を目処としつつ、1株当たり配当金は原則として累進的とし、配当性向は、第三次中期経営計画期間（2024～2026年度）中に35%程度とすることを目指します。</p> <p>なお、当期純利益の増強を基本としてROE向上に取り組んでいく方針であり、早期に5%以上を達成のうえ、さらに高い水準を目指します。</p>	<p>当社は、金融グループの公共性に鑑み、将来にわたって株主各位に報いていくために、収益基盤の強化に向けた内部留保の充実を考慮しつつ、安定的な株主還元を継続することを基本方針といたします。</p> <p>具体的には、配当金と自己株式取得合計の株主還元率40%を目処といたします。</p> <p>なお、当期純利益の増強を基本としてROE向上に取り組んでいく方針であり、早期に5%以上を達成のうえ、さらに高い水準を目指します。</p>

(2) 変更の理由

当社の企業価値の向上に向けた資本・財務戦略の一環として、健全性の維持と収益性の更なる向上のバランスを勘案しつつ、株主還元の充実により企業価値の向上を図ることを目的に、株主還元方針を見直すことといたしました。

2. 剰余金の配当（増配）

（1）配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (2023年5月12日公表)	前 期 実 績
基 準 日	2024年3月31日	同左	2023年3月31日
1株当たり配当金 (普通配当) (記念配当)	75円00銭 (70円00銭) (5円00銭)	70円00銭 (65円00銭) (5円00銭)	60円00銭 (60円00銭) (—)
配当金総額	3,362百万円	—	2,719百万円
効力発生日	2024年6月3日	—	2023年6月1日
配 当 原 資	利益剰余金	—	利益剰余金

（参考）年間配当の内訳

基 準 日	1株当たり配当金		
	第2四半期末(中間)	期 末	年 間
当 期 実 績 (普通配当) (記念配当)	70円00銭 (65円00銭) (5円00銭)	75円00銭 (70円00銭) (5円00銭)	145円00銭 (135円00銭) (10円00銭)
前 期 実 績 (2023年3月期)	60円00銭	60円00銭	120円00銭

（2）増配の理由

2024年3月期の期末配当につきましては、前期比10円増配となる1株当たり70円（普通配当65円、記念配当5円）を予定しておりましたが、当期の業績および株主還元方針に鑑み、さらに1株当たり5円増配し75円（普通配当70円、記念配当5円）とすることといたしました。

これにより、中間配当70円（普通配当65円、記念配当5円）と合わせた当期の年間配当金は、1株につき145円（普通配当135円、記念配当10円）となり、配当金と自己株式取得合計の総還元率は40.3%となります。

3. 2025年3月期 配当予想（増配）

（1）配当の内容

基 準 日	1株当たり配当金		
	第2四半期末(中間)	期 末	年 間
前 期 実 績 (2024年3月期)	70円00銭	75円00銭	145円00銭
2025年3月期 直近の配当予想 (2024年1月26日公表)	70円00銭	70円00銭	140円00銭
2025年3月期 (今回予想)	80円00銭	80円00銭	160円00銭

（2）増配の理由

上記株主還元方針の変更および2025年3月期の業績予想等を踏まえて総合的に検討した結果、2025年3月期の1株当たり年間配当金につきましては、前期比15円増配の160円となる予定であります。

以上